

先端医療開発「特区病院」の提案

参考資料

「細胞シートによる再生医療実現」 特区体制

医工連携、産官学連携、国際連携



世界初・日本発「細胞シート再生治療」世界普及への取り組み

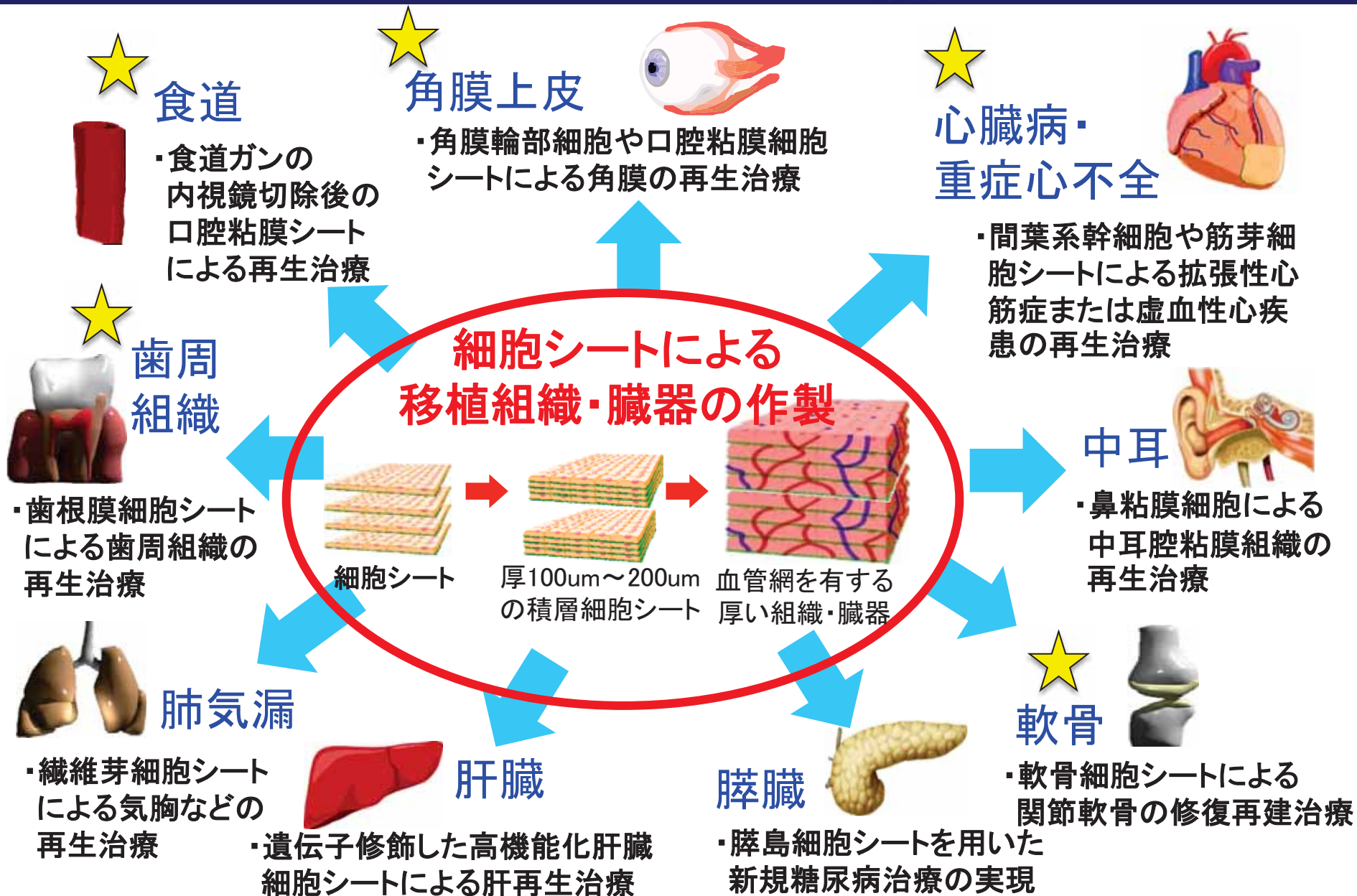
スーパー特区「細胞シートによる再生医療実現プロジェクト」(2008-2013/3月)

- 1990 ■ 温度応答性培養表面の開発
- 2000 ■ 組織・臓器を細胞から作製する**世界初・日本発**のテクノロジー「細胞シート工学」の創生
- 2001 ■ 再生治療事業化のため大学発ベンチャー(株)セルシードを設立
- 2003 ■ 角膜上皮再生治療の臨床研究開始(阪大眼科)
- 2007 ■ 心筋再生治療の臨床研究開始(阪大第一外科)
 - 角膜上皮再生治療のフランス治験開始(セルシード)
- 2008 ■ 食道再生治療の臨床研究開始(東女医大消化器外科)
 - 温度応答性培養皿「UpCell®」の全世界的販売開始(セルシード)
- 2010 ■ 角膜上皮再生治療フランス治験、経過観察終了(25例)
 - 食道再生治療の臨床研究、計画された10例を完了
- 2011 ■ 歯周再生治療、ヒト幹細胞臨床研究として承認・開始(東女医大歯科口腔外科)
 - 心筋再生治療の治験確認申請が承認(テルモ)
 - 角膜再生上皮細胞シートの販売承認を欧州医薬品庁に申請(セルシード)
 - 軟骨再生治療、ヒト幹細胞臨床研究として承認・開始(東海大整形外科)
- 2012 ■ 心筋再生治療の治験開始(テルモ)
 - 食道再生治療の臨床試験がカロリンスカ研究所で開始

To Be Continued !!



世界初の細胞シート再生治療（★臨床試験開始）



「特区」幹事チームが、再生治療開発とレギュラトリーサイエンス研究を推進

口腔粘膜上皮細胞シートによる食道再生治療

東京女子医科大学 消化器外科

- ・2008-2010年 臨床研究実施(10例, 東京女子医科大学消化器外科)
10例中9例において、著しい創傷治癒の促進と狭窄の防止効果を確認
- ・2010年 カロリンスカ研究所(スウェーデン)との共同研究開始
- ・2011年 長崎大学・東京女子医科大学間にて細胞シート移送実験を開始
- ・2012年 カロリンスカ大学病院にて倫理委員会の承認を得て12月に2例の臨床研究開始
現在、長崎大学との臨床研究の準備中

内視鏡による食道表在癌切除

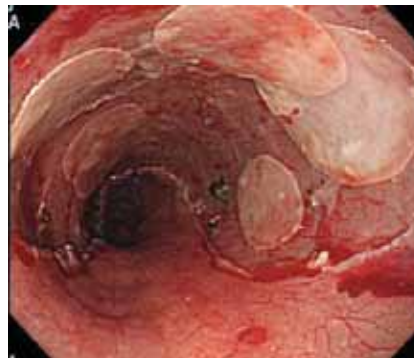


狭窄



創傷治癒促進
狭窄防止

内視鏡による
口腔粘膜上皮
細胞シート移植



術後3週間